

■【トピックス】

季節は確実に変わっていきます！



昨年の後半からの景気後退ですが、そろそろ底を打ちそうですね。底を打ったからといって反転して景気がよくなるということではないですが、とりあえず、景気の底を実感して、前向きな方向に気分を変えたいものですね。

政治も選挙で気分を変えて、ゼロベースでこの国をよくしてほしいものです。目の前のアメに踊らされることなく、そろそろわれわれも真剣に政治家を選択する時期になったようです。

■【ビジネス・アイ】

信用保証協会（その4）

社長 「花野さん、売上は下がったままだけど、下げ止まったような感じがするよ」

花野 「そうですね。需要は減少しただけで、なくなったわけではありませんので、この状態がしばらく続くかもしれませんね」

社長 「これからは、正直体力勝負という感じだね。なんとかこの状態でも利益が出せるように、予算の見直しをしているところだよ」

花野 「ところで、社長、資金の方は大丈夫ですか」

社長 「なんとか回っているよ。また一段と売上が下がるときついけどね」

花野 「それなら転ばぬ先の杖になる制度がありますよ。予約保証制度といまして、将来の借入に備えて、信用保証協会の保証を予約する制度があるんです」

社長 「当面、うちは新規の資金は必要ないけど、業績が悪くなってからじゃ審査も通らないから予約できるのはメリットがあるね」

花野 「そうです。この制度は責任共有制度の対象のため、緊急保証制度の審査より金融機関の審査が厳しい可能性がありますので、まだ業績のいいうちに審査してもらうことが得策ですね」

社長 「先行きは分からないから、今のうちに審査だけでも受けておくよ。ところで、予約しておける期間はどのぐらいなの」

花野 「予約しておける期間は、365日です。保証料が高めですからそれも合わせてご検討下さい」

■【今月のキーワード】

予約保証制度

昨年11月に創設された保証制度です。これまでの保証制度は、今資金が必要なくても借入れる必要がありましたが、この制度は借入れの予約を行うだけで実際の借入れを行うのは将来になります。

たとえ予約を行っても、借入れを実行しなければ保証料を支払う必要はありません。ただし、将来借入れを実行した時には、通常の借入れの保証料に一定の保証料を上乗せされます。

注意点は、緊急保証制度とは異なり責任共有制度の対象ということです。予約期間は365日です。

■【今月の1冊】

『俺は中小企業のおやし』

鈴木 修 著

日本経済新聞社

¥1700

中小企業の経営者にお勧めの1冊です。十分大企業（売上3兆円）である自動車メーカーのスズキ株式会社社長兼社長の半生記です。

著者がスズキに入社して以来何度も危機をくぐり抜けて来ました。今回もきつとくぐり抜けるでしょう。ただ、その経営手法は、大企業でありながら中小企業そのものですが、成功しています！



■【編集後記】

先月号には、アンケートを同封させていただきました。多数のご回答をいただき誠にうれしく思いました。ありがとうございます。いただいたご意見は、今後の紙面の参考にさせていただきます。

ちょっとだけ、タイトルを変えてみました！

『NEWS LETTER』vol. 26（毎月1日発行）

●定価：2,400円/年 ●発行日：2009.5.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルエムビル5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808

<http://homepage3.nifty.com/binspire/>